

令和5年度 大宮開成中学校 自己評価シート

目指す学校像	「国際感覚豊かな人間教育」に基づき、高い志を持った21世紀のリーダーとしての品格を備えた人材を育成し、地域から高い評価を得られる進学校
--------	---

重点目標	(1) 国際的視野に立ち、未来を創造する知性と探究心を磨く学習指導 (2) 生徒と教師が手を携え、高みを目指す志を育む進路指導 (3) 自立・自律の精神と多様性を育む学校活動
------	---

評価項目	年度当初			年度末		
	現状と課題	具体的方策	評価指標	達成状況	達成度	次年度の課題と改善策
1 国際的視野に立ち、未来を創造する知性と探究心を磨く学習指導	①国際理解教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本文化・異文化・比較文化学習の実施 ・ GVSなど英語教育行事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スピーチコンテスト・開成文化週間の満足度 ・ GVSの満足度 ・ 生徒の感想 	英会話・オンライン英会話の満足度は全ての学年で昨年度より下がった。 GVS(中学3年)の満足度は昨年度より下がった。	B	日本文化・異文化・比較文化の学習意欲を高め英語教育行事の更なる充実を図る。
	②英語教育の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語4技能を育成する授業(双方向授業・英会話) ・ 英検受検促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英検の目標取得級達成率(1年4級以上・2年3級以上・3年準2級以上) 	1年 97.2%(昨年度比3.6%増) 2年 87.8%(昨年度比1.6%増) 3年 75.2%(昨年度比11.5%減)	A	全学年で100%に近づくよう検定の取得意欲を高めていく。
	③探究活動を土台としたプレゼン教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特活・道徳の時間を充実させ探究心を刺激する ・ 模擬プレゼンと様々な外部コンテストへの参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化祭・開成文化週間の満足度 ・ 探究活動への参加意欲 	文化祭の来場者数は昨年度より増加し発表内容も充実した。 在校生・卒業生のプレゼンテーションの質は上がっていた。	A	充実した文化祭・開成文化週間の実施、生徒のプレゼンテーション能力の更なる向上を目指す。
2 生徒と教師が手を携え、高みを目指す志を育む進路指導	①学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業理解度の向上 ・ 補習・小テスト等による学力向上 ・ 家庭学習習慣定着のための年間指導計画作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験・模擬試験の結果 ・ 家庭学習時間数 ・ 学習指導に関する生徒アンケート 	授業の内容・進度・主体性の満足度は高水準を維持していた。 課題・小テスト等に前向きに取り組んでいる割合も全学年で非常に高い。	A	平常授業の質を更に高め、定期試験・模擬試験の成績向上を目指す。 家庭学習の習慣が定着するよう指導する。
	②一人ひとりを大切にするキャリア教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生・外部講師によるキャリア講演の充実 ・ 細やかな二者面談・三者面談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛知和講演の満足度 ・ 生活指導に関する生徒アンケート 	愛知和講演の満足度は中1・3年で昨年度より下がった。 生活指導に関する項目の満足度は比較的高い水準にある。	B	卒業生によるキャリア講演を充実させていく。 自己管理ノートの活用の理解を深めていく。
3 自立・自律の精神と多様性を育む学校活動	①校訓「愛知和」に基づく心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛知和講演・人権教育の実施 ・ 学校行事への積極的な生徒の参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演の事前・事後指導状況 ・ 行事实施状況 ・ 各学校行事に関する生徒アンケート 	サマーキャンプ・奈良京都伝統文化研修の満足度は非常に高い。 体育祭の満足度は昨年度より大きく上昇した。	A	愛知和講演を通して生徒の人権意識を高めていく。 生徒主体の学校行事を増やしサポートしていく。
	②部活動の適切な実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効率的な活動時間の確保 ・ 外部コーチの充実 ・ 学業との両立指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各部活動の大会等実績 ・ 部活動に関する生徒アンケート 	部活動に対する満足度は全体的に非常に高い。 チアダンス部が全国大会に出場し吹奏楽部が県大会に出場した。	A	今後も魅力ある部活動をおこない、学習とのバランスを追及していく。
	③安心・安全な学校環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶の励行 ・ 登下校のマナーの徹底 ・ いじめの抑止・早期発見 ・ 生徒対応の研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活状況調査 ・ 生徒指導に関する生徒アンケート ・ 保健室利用状況 	挨拶はよくできているが、登下校時のマナーの苦情は多かった。 保健室利用者のべ数は昨年度より減少した。(▲151人)	C	継続して登下校時のバス内マナー指導を強化していく。 生徒の様々な問題に対応するため職員研修を実施していく。

達成度 A：ほぼ達成 (80%以上) C：変化の兆し (40%以上)
 B：概ね達成 (60%以上) D：不十分 (40%未満)

令和5年度 大宮開成高等学校 自己評価シート

目指す学校像	広い視野と高い教養を身につけた知性豊かで「調和のとれた人間教育」を図り、地域から高い評価を得られる進学校
--------	--

重点目標	(1) 国際的視野に立ち、未来を創造する知性と探究心を磨く学習指導 (2) 生徒と教師が手を携え、高みを目指す志を育む進路指導 (3) 自立・自律の精神と多様性を育む学校活動
------	---

		年度当初			年度末		
評価項目	現状と課題	具体的方策	評価指標	達成状況	達成度	次年度の課題と改善策	
1 国際的視野に立ち、未来を創造する知性と探究心を磨く学習指導	①海外研修を含めたグローバル教育の充実	・海外研修の実施 ・任意プログラム(ターム・セブ島・校内)の実施	・海外研修・任意プログラムの実施状況 ・海外研修行事に関する生徒アンケート	全員参加の海外研修が再開でき、満足度は非常に高かった。セブ島夏期留学は40名、3カ月ターム留学は7名で新企画としてスタートできた。	A	海外研修は新しい内容のものを検討していく。任意プログラムも引き続き、参加者が増えるよう、更に内容を精練させる。	
	②総合的な探究の時間を中心とした探究活動の充実	・愛知和ラーニング Core/Pro講座の充実 ・プレゼン・論文の発表	・生徒による探究活動の成果発表 ・探究活動に関する生徒アンケート	愛知和ラーニングの満足度は昨年度より上昇したが、発表する生徒の数をさらに増やしていく。論文作成では外部機関との連携をはじめ、満足度が向上した。	B	引き続き特色のあるPro講座を創設し、文化祭等で発表する生徒が増えるようにする。	
2 生徒と教師が手を携え、高みを目指す志を育む進路指導	①一人ひとりを大切に する進路指導の徹底	・HR・保護者会での進路情報の伝達 ・細やかな二者面談・三者面談の実施	・進路・学習状況調査 ・難関大学の実合格率 ・進路指導に関する生徒・保護者アンケート	大学見学・二者面談・三者面談・HRでの進路指導等の満足度が非常に高かった。	A	引き続き面談・HR等での細やかな指導を継続し、一人ひとりの生徒の進路実現をサポートする。	
	②大学受験に対応した教科指導の充実	・放課後補習の開講 ・愛知和ラーニング 入試対策講座の充実 ・夏期・春期講習の実施	・補習・講習の実施状況 ・学習指導に関する生徒・保護者アンケート	授業に関する満足度は高水準を維持していた。夏期講習・春期講習・放課後補習のラインナップは充実していた。	A	平常授業・講習・補習の質を向上させ、大学受験への対応を目指す。	
	③大学合格実績の向上	・入試情報の分析と伝達 ・英検の受検促進 ・東大プロジェクトの実施	・旧帝大合格数 ・国公立大合格数 ・早慶私立医大合格数 ・難関私立大学合格数	7年連続東京大学合格 現役合格数 国公立大97名 早慶94名・私立医大10名	B	卒業生数が例年に比べ少ない学年であったが、生徒は果敢に受験に臨むことができた。今後も安定的に難関大合格者を輩出するようにする。	
3 自立・自律の精神と多様性を育む学校活動	①生徒主体の学校行事の実施	・愛知和講演・人権教育の実施 ・学校行事への積極的な生徒の参加	・行事实施状況 ・各学校行事に関する生徒アンケート	体育祭・文化祭・合唱祭の満足度は非常に高い。宿泊研修も同様に非常に高かった。	A	文化祭・体育祭・合唱祭の運営を更に生徒中心の体制に移行させ、内容を充実させていく。	
	②部活動の適切な実施	・効率的な活動時間の確保 ・外部コーチの充実 ・学業との両立指導	・各部活動の大会等実績 ・部活動加入率・活動実態 ・部活動に関する生徒アンケート	アーチェリー部・チアダンス部・薙刀部が全国大会に出場し、その他の部活動も活発に活動していた。	A	外部コーチの充実や活動時間の効率化により、練習の質を向上させ、さらに高い成果があげられるようにする。	
	③安心・安全な学校環境づくり	・挨拶の励行 ・登下校のマナーの徹底 ・いじめの抑止・早期発見 ・生徒対応の研修	・学校生活状況調査 ・生徒指導に関する生徒・保護者アンケート ・保健室利用状況	挨拶はよくできているが、登下校時のマナーの苦情は多かった。保健室利用者のべ数は昨年度より減少した(▲196人)。	C	登下校マナーについて引き続き指導していく。多様な生徒の悩みに対しケアができるように職員研修を実施する。	

達成度	A：ほぼ達成 (80%以上)	B：概ね達成 (60%以上)	C：変化の兆し (40%以上)	D：不十分 (40%未満)
-----	----------------	----------------	-----------------	---------------